



石川 一洋 (ISHIKAWA Ichiyou)

NHK 解説委員

東京大学文学部ロシア語ロシア文学科卒業。

---

1982 年NHK入局。秋田放送局記者 (1982-85)、青森放送局三沢通信部記者 (1985-88)、報道局取材センター国際部記者 (1988-92)、モスクワ支局記者 (1992-96)、報道局国際部記者 (1996-98)、報道局国際部デスク・日露プロジェクト統括 (1998-2002)、モスクワ支局長 (2002-2007) を経て、2007 年秋より現職。

主にペレストロイカ末期から現在に至るロシア現代を取材テーマとしてきている。例えば：

- 旧ソビエト末期・ペレストロイカに伴う民主化運動、民族運動の勃興、クーデター未遂事件、連邦崩壊など。
- 連邦崩壊から新生ロシア誕生での混乱期：市場経済改革、大統領権限と議会の対立、チェチェン紛争、民営化に伴う財閥の登場、九六年共産党との対決となったロシア大統領選挙。
- 旧ソビエト・ロシアの核開発の歴史と連邦崩壊後の混乱に伴う核技術の流出、旧ソビエト諸国 (カザフスタン、ウクライナ) の核保有および核放棄への動き。
- オウム真理教や犯罪組織などロシア社会の混乱。
- カスピ海からのパイプラインルートをめぐるロシアと欧米の覇権争い。
- ソビエト崩壊後のアイデンティティ確立の問題。
- ロシア金融危機などロシア経済の落ち込み、物々交換の広がり。
- 日ロ関係、東京宣言、クラスノヤルスク、川奈などエリツィン政権期、そしてプーチン政権における日ロ関係の進展と混乱。
- エリツィン後継の中でのプーチンの登場、第二次チェチェン紛争。
- プーチン政権初期の経済成長、テロとの戦い。財閥と政権の対立。
- ロシアのエネルギー開発、エネルギー産業における国家の回復。
- 第二期プーチン政権・ロシア経済の復興と中央集権的な体制への確立の動き、ロシア資本主義の拡大。ロシアにおける主権民主主義。
- プーチンからメドベージェフへ・二頭政権継承への動き。
- ロシアの方向性・文化。哲学。音楽など。